



令和5年11月14日

仙台管区气象台

仙台で初霜を観測

11月14日、仙台で初霜を観測しました。

平年と同じ (平年は 11月14日)

昨年より 4日早い (昨年は 11月18日) 観測です。

参考資料

1 初霜とは

霜は空気中の水蒸気が昇華(しょうか)して、地面や地物に付着した水の結晶です。結晶はうろこ状、針状、羽状または扇子状の形をしています。

「初霜」は秋から春に至る期間に初めて霜を観測した日です。
気体から直接固体に変化すること。

2 観測方法

露場(ろじょう)もしくはその周辺の状態を目視により観測します。
観測単位は「日」となります。

3 これまでの観測記録

仙台管区气象台では1926年(大正15年)から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録(最早): 1944年10月 3日(昭和19年)

一番遅い記録(最晩): 2004年12月 3日(平成16年)

問合せ先: 仙台管区气象台気象防災部 観測整備課

担当: 毛利 電話: 022-297-8106